

真木

第 206 号

〒260-0852
千葉市中央区青葉町
1274-14
加藤峰子方
千葉県俳句作家協会
事務局
TEL 043-225-7115

〒276-0042
八千代市ゆりのき台3-4-1101
前北かおる方
「真木」編集部
TEL 090-4363-3501

目次

令和五年度通常総会開催、協会賞贈賞式	1
第37回協会賞 受賞者のことば	2
新緑交流俳句会	3
千葉県俳壇ニュース、結社賞、会員著書紹介	5
年会費納入のお願い、新入会員一句、受贈誌より	6
事務局日誌、ひろば、第65回千葉県俳句大会のご案内	7

令和五年度通常総会開催

令和五年度通常総会が五月二十一日(日)午後一時より「ホテルポートプラザちば」二階「ルビーの間」にて開催された。出席者三十九名、委任状一八九名、合計二二八名(会員数三五二名)で加藤峰子事務局長の総会成立宣言により開催された。

増成栗人副会長の開会の辞に続き、能村研三会長より「五月からコロナの感染症分類が五類

に変更され、徐々にコロナ前に戻りつつあります。当協会も春の俳句大会や秋の吟行会が開催され、前年とは違ってきております。今後も協会の所属協会、団体にとらわれることなく、千葉県俳壇を盛り上げていきたい。」との挨拶があった。

恒例により議長を会長が務め議事に入り、令和四年度事業報告が加藤峰子事務局長より、同収入支出決算報告が中村世都事務局会計担当より行われた。続いて会計監査報告が飯田晴監事よりあり、異議なしで承認された。

次に、加藤事務局長から令和五年度事業計画案、中村会計担当より令和五年度収入支出予算が提示され承認された。続いて令和五年、六年の役員案が石井紀美子理事長から提案され承認された。議事終了に伴い総会は、北川昭久副会長の閉会の辞により終了した。

(三浦侃記)



議長・能村会長

第三十七回協会賞贈賞式

通常総会に続いて、第37回協会賞の贈賞式が行われた。協会賞に「犀の角」の木嶋純子氏、次席「縹渺と」の栗坪和子氏、佳作1に「雨垂」古谷誠司氏、佳作2に「白樺派」の相川健氏(当日は欠席)が選ばれた。秋尾敏副会長の司会で進行され、能村会長の祝辞に続いて、秋尾副会長から選考過程の説明があった。会長から賞状、賞品が授与され、協会賞の木嶋氏が代表して受賞の言葉を述べた。なお、全員の「受賞者のことば」は今号の誌面に掲載している。



第37回協会賞
前列左から古谷氏、木嶋氏、
能村会長、栗坪氏